

麻しん・風しん(MR)の 予防接種を受けましょう

健康福祉部長寿健康づくり室
 (あいあい ☎84-3316)

麻しん・風しんは感染力が強く、人から人へ感染する病気です。予防接種対象の人は忘れずに受けてください。

平成28年度の対象者

第1期 (1回目)	1歳～2歳未満
第2期 (2回目)	平成22年4月2日～ 平成23年4月1日生まれの人

接種方法 県内の各医療機関へ予約してください。

※県外で接種する場合は、健康福祉部長寿健康づくり室へご連絡ください。

接種料金 無料

持ち物 母子健康手帳、予診票、健康保険証、外国人は在留カード(外国人登録証明書または特別

永住者証明書でも可)
その他 予診票をお持ちでない場合は、母子健康手帳を持参の上、健康福祉部長寿健康づくり室または健康づくり関センターへお越しください。

※詳しくは、個人通知や出生届時にお渡しした「赤ちゃんすくすく」の予防接種の案内をご覧ください。

タクシー券の利用は 助成を受けた本人に限ります

健康福祉部長寿健康づくり室
 (あいあい ☎84-3312)

高齢者と重度の障がいがある人の社会活動を支えるために、タクシー料金の一部を助成する「タクシー料金助成事業乗車券(タクシー券)」を交付しています。

タクシー券の利用は、助成を受けた本人に限ります。他人への

譲渡、売買や換金などの不正使用は、助成額を返還していただくだけでなく、犯罪行為となる場合があります。

タクシー券の適正な利用をお願いします。

※年度内1回に限り交付申請できます。75歳に到達した人や、身体障害者手帳1・2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1・2級の所持者で、まだ交付を受けていない希望者は、健康福祉部長寿健康づくり室または市民文化部関支所地域サービス室(☎96-1212)へお問い合わせください。



市立医療センターだより

市立医療センター(☎83-0990)

11月14日は「世界糖尿病デー」

現在、世界の糖尿病人口は約4億人にのぼり、20年後には約6億人に達すると試算されています。国連は糖尿病の脅威に対応するため、糖尿病治療に不可欠なインスリンを発見したバンティング博士の誕生日である11月14日を「世界糖尿病デー」と決めました。この日は世界各地で糖尿病の予防・治療の大切さを訴える啓発活動や、著名な建物のブルーライトアップなどが行われます。

糖尿病ってどんな病気？

人間は消化した食物を血液中にブドウ糖として取り込むため、血液中のブドウ糖濃度(血糖値)が上がりますが、すい臓から分泌されるインスリンの作用で、血液中のブドウ糖を肝臓や筋肉に取り込み血糖値を下げています。糖尿病はインスリンの量が少なかったり、うまく働かないために、血糖値が高い状態が続くことを言います。

糖尿病が死に至る病気との認識は薄いですが、世界中で年間500万人以上が糖尿病による合併症などが原因で死亡しています。これは6秒に1人が糖尿病に関連する病で命を奪われている計算になります。

日本でも40歳以上の3人に1人が糖尿病予備軍と言われていますが、多くの人が何も治療を受けていません。早期に治療を開始すれば合併症を予防できます。血糖値が高いなど糖尿病の疑いがあるときは早く医師に相談しましょう。



糖尿病患者は世界中で年々増加しています。



日本でも40歳以上の3人に1人が糖尿病予備軍とも？！